

こんにちは 婦人会です

3月に入りいよいよ春本番！と思ったのですが、なんと冬に逆戻りになってしまいました。エルニーニョ現象が解消してしまったとか…。寒い日が続いておりました。そんな寒さにもめげずに咲いているこぶしの花や木蓮の花についガンバツテネと声をかけてしまいました。この寒さも今週ぐらいで、来週からは暖かさが戻ってくるそうですよ。先日桜の開花宣言がありました。列島一番乗りは靖国神社のソメイヨシノで、その数わずか6輪です。見ごろは26日、27日頃とのことです。今月の食事会メニューは、桜茶・ふくさ寿司・太巻き・桜餅・お抹茶・などなど春の先取りでした。また保健師さんに来て頂き、血圧測定や健康体操・お話しなどを伺いました。今月も川副さんより綺麗な句をいただきました。

「 青空に 白モクレン 一輪一輪 咲きほこる 」

～ 婦人会・暮らしのエッセンス～

皆さん、あの綺麗な桜の花の寿命がたった5日しかないということご存知でしたか？例のごとくインターネットで調べていましたら、桜守り(さくらもり)プロジェクトというコーナーを見つけました。桜は、イチョウやケヤキに比べると木の性質が弱く、適切な保育をしないと痛みやすく衰弱し放置すれば枯れてしまいます。枯れた枝は切除し、根元に肥料を施し、樹木の健康管理が必要なのです。こういうことをする人を「桜守(さくらもり)」というそうです。そのコーナーには、(くにたち桜守活動)のホームページがあり、「たった5日の美しい花を咲かせるためには、残り360日を誰も見向きもしない桜を気にかけて世話をする人が要る ～現代の桜守と知られた16代佐野藤右衛門氏の著書より～」と書かれています。 一口メモでした



桜台婦人会
菊谷ひろ代 66 - 7314
平成19年3月22日
第63号